

令和3事業年度 会計監査人の選任等の公表について

令和 3年 7月 2日
国立長寿医療研究センター

厚生労働大臣より国立研究開発法人 国立長寿医療研究センターの会計監査人として、有限責任あずさ監査法人を選任した旨の通知が、令和3年6月30日付にありました。

これに伴い、当センターから厚生労働大臣に対する候補者名簿の提出に至るまでの経緯及び選定基準を公表します。

1. 経緯

- (1) 会計監査人の候補者名簿の作成については、公募型企画競争により監査法人等からの企画書を募集することとし、令和3年3月24日から4月6日までの間、当センターホームページへの掲載等により募集を行ったところ、有限責任あずさ監査法人、かがやき監査法人、CTS監査法人の3監査法人からの応募があった。
- (2) 候補者の選定にあたっては、当センターに外部審査委員2名で構成する会計監査法人候補者選定委員会を設置し、各監査法人から提出された企画書等の審査及び選定基準に基づく採点結果を踏まえ、当該委員会において審議し、有限責任あずさ監査法人を第一候補者とした。
- (3) 中央省庁等改革の推進に関する方針Ⅲ18(2)に基づき、会計監査人の候補者名簿を令和3年6月7日付けで厚生労働大臣に提出した。

2. 選定基準

1. 選定の手順

- (1) 各応募者ごとに企画書技術点(監査実績部分を除く)について各考査者(会計監査人候補者選定委員会委員)が採点。
- (2) 各応募者ごとに企画書技術点(監査実績部分)、価格点について会計監査人候補者選定委員会事務局が採点。
- (3) 各考査者及び事務局の採点を合計した結果に基づき、会計監査人候補者選定委員会にて審議し、当センターの会計監査人候補者名簿に掲載すべき者を選定。

2. 採点項目

A. 企画書技術点

1. 監査体制及び監査実施要領等

(1) 監査体制の評価

- ① センターを監査するチーム体制の妥当性

- ② 実際に監査を行う者の人数、経験、研修等の妥当性
 - ③ 監査のサポート体制の妥当性
 - ④ 当センターの財務諸表作成部門及び内部監査部門との連携体制についての考え方の妥当性
- (2) 監査実施要領の評価
- ① 監査日数、期間の妥当性
 - ② 具体的監査実施方法の妥当性
 - ③ 監査契約に含まれるサービスの合理性
- (3) センターにとって、ガバナンス・コンプライアンスの観点による提案と実績
- ① センターにとって、ガバナンス・コンプライアンスの観点による提案と実績
- (4) 監査品質の状況
- ① 直近の日本公認会計士協会による品質管理レビュー結果の状況
2. 監査実績等(令和2～平成30年度)
- ① 独立行政法人(国立研究開発法人を含む)、国立大学法人(病院を有していること)、学校法人(病院を有していること)に対する監査実績(監査対象法人数)
 - ② 独立行政法人(国立研究開発法人を含む)、国立大学法人(病院を有していること)、学校法人(病院を有していること)、病院(病床数 250 床以上・一法人全体で 250 床以上も可)に対するコンサルティング実績(コンサル契約法人数)
 - ③ 病院(病床数 250 床以上・一法人全体で 250 床以上も可)を有する組織の監査実績(監査対象法人数)
 - ④ 中央省庁、日本公認会計士協会又は公的機関における独立行政法人(国立研究開発法人を含む)関連公的委員派遣実績(派遣委員会数)

B. 価格点

(1) 監査費用(提示金額)

各監査法人からの見積書を基に評価

【問合わせ先】

監査室 担当: 藤澤
電話 0562-46-2311